

分野	授業科目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当講師
専門分野Ⅱ 母性看護学	母性臨床看護論Ⅱ	新生児期の看護	1	8/30	2年次後期	看護係長

テキスト(発行所)	系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院)
テキスト以外の教材、 参考図書	参考資料を適宜配布する。

学習のねらい	胎児から、新生児への生活環境及び生理的变化を理解し、児の健康な発達を援助する。
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胎児から新生児への生理的变化、新生児の身体的特徴について学ぶ。 2. 新生児の診断、発育の評価について学び、アセスメントに必要な情報、収集の技術、アセスメントの視点を理解する。 3. 新生児の医療事故について学び、医療安全に留意する。 4. 早期新生児の健康問題に関する看護を理解する。

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	新生児の生理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児の定義 2. 新生児の機能 呼吸 循環 体温 神経 運動器 感覚器 消化器 代謝 免疫 泌尿器 反射 	講義
2回	新生児のアセスメント	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出生直後の評価 2. 身体計測と成熟度の評価 3. 新生児マススクリーニング 4. 新生児の行動評価 	講義
3回	早期新生児と家族への看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 清潔 2. 保温 3. 栄養 4. 感染予防 5. 事故防止 6. 保育環境 	講義
4回	早期新生児の健康問題に関する看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 先天異常 2. 早産・低出生体重児 3. 新生児一過性多呼吸 4. 呼吸窮迫症候群 5. 胎便吸引症候群 6. 高ビリルビン血症 	講義

		<ul style="list-style-type: none"> 7. 新生児ビタミンK欠乏 8. 低血糖 9. 新生児搬送 	
--	--	---	--

単位認定の方法	<ul style="list-style-type: none"> 1. 母性臨床看護論Ⅱの中の、新生児期の看護 8 時間である。他に産褥期の看護 10 時間、看護技術 12 時間を合わせた 30 時間の中で 24 時間以上の出席があることとする。 2. 母性臨床看護論Ⅱ(産褥期の看護 30 点、新生児期の看護 30 点、看護技術 40 点)は 100 点満点で、60 点以上を合格とし単位認定とする。
受講上のアドバイス	<p>新生児に対する医療はめざましい進歩をとげ、現在わが国は新生児死亡率が最も低い国になっている。核家族化、少子化、女性の社会進出に伴い、育児指導から育児支援としての新たな視点をもつことが必要になっている。両親と家族への育児支援ができるよう「新生児期の看護」を学ぶ。</p>